

演説館



福澤先生とその門下生たちは、西洋のスピーチ、デベートを研究し、わが国の「演説」を創始しました。三田演説館は、明治8年に開館した日本最初の演説会堂です。

図書館旧館の改修工事

赤レンガと御影石の美しい外壁、正面に八角塔を有した図書館旧館は、義塾創立50年を記念して卒業生・有志の全額寄付によって、明治45（1912）年、三田山上に建造されたものです。その後、関東大震災、第2次世界大戦で大きな被害を受けましたが、修復・増築がなされ、長年にわたって多くの塾員・塾生に心の故郷として愛され続け、義塾の重要なシンボルの一つとなっています。現在の図書館旧館は、新築時の本体と第1書庫、昭和2年増築の第2書庫、さらに昭和36年増築の第3書庫から成り立っていて、本体と第1書庫の建物外面とその内部の玄関ホールの内装は、明治末期の代表的レンガ建築として昭和44年に国の重要文化財に指定されています。

この図書館旧館も、昭和57年の大改修から既に30年以上が経過、外装・内装の老朽化が進行しています。また、本体・第1書庫を中心に建物の一部に現行の耐震基準に適合していない部分も存在することから、耐震補強工事を含めた改修工事が必要と考え、工事計画を検討してきました。工事方法については、

●常任理事

わたなべなおき
渡部直樹

建物自体が重要文化財であるため、耐震壁や筋交いなどの一般的な耐震工法をとることはできず、免震レトロフィットという既存建物を免震化し耐震性を高める特殊な工法を用いた大規模な工事となります。

そのため、これに伴う措置として、1月10日の新年のご挨拶の日をもって、重要文化財部分の本体ならびに第1書庫を閉鎖します。工事期間は準備期間も含めて約3年を計画していますが、本格的に工事が開始される秋には、工事囲いもされ、図書館旧館の外観も見られなくなります。一時的でも閉鎖されることは、真に残念ですが、利用者の安心安全のため、文化財の保護のため、皆様には、何とぞご理解ください。

今回の図書館旧館の改修により、三田山上の建物の耐震工事がすべて完了することになります。現在、各キャンパスで建物の建替えが計画されていますが、施設担当常任理事として良いものは修復しながら残し、バランスの取れたキャンパス環境を維持したいと考えています。